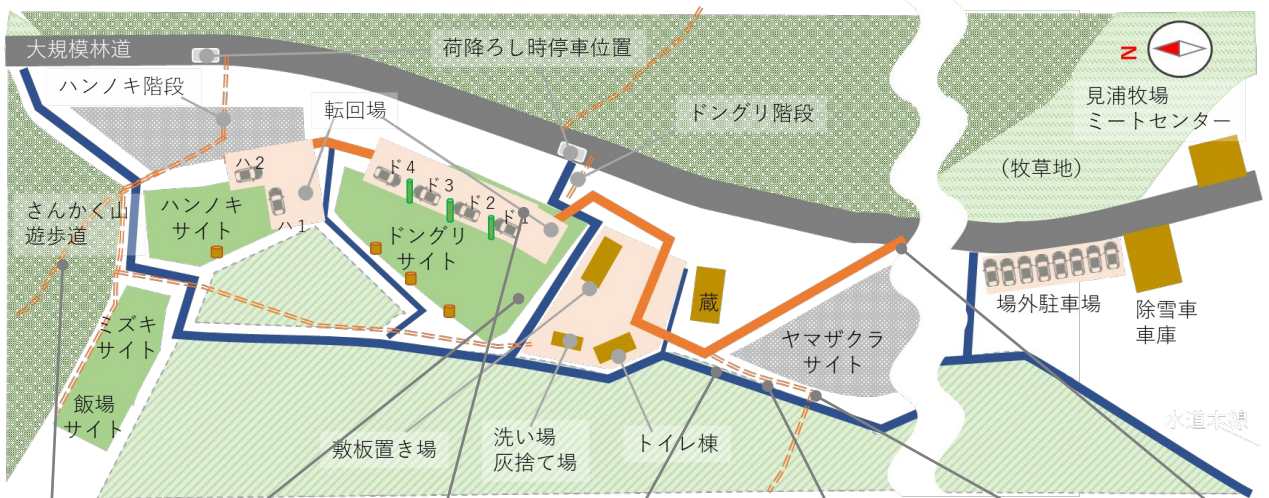


# こいた 小板まきばの里通信 Vol 12.2

## ～動物の足跡を探そう～

小板まきばの里へようこそ。小板まきばの里は西中国山地国定公園内の南に深入山、北に臥竜山で挟まれた標高780mの山里、小板集落の一角にあります。2018年11月にこの地に移住してきたスタッフ2名が60年以上前に住人がいなくなり荒地と化した耕作放棄地を、この土地の自然の恵みを活用しながら手作りで開拓しています。このキャンプ場ならではの豊かな自然と波乱万丈の開拓現場の探索をお楽しみください。

## ■キャンプ場周辺で冬の植物を探索しよう！



エゾユズリハ



ツノハシバミ  
(冬芽)



ホオノキ  
(冬芽)



ミズキ  
(冬芽)



レンゲツツジ  
(冬芽)



ノリウツギ  
(枯れ花)



ミズメ  
(冬芽)

## ■里山の自然観察 ～動物の足跡を探そう～

12月、寒波がやってくるとキャンプ場周辺の里山は一面の雪景色に変わります。雪の上にはそこを歩いた動物の足跡がくっきりと残るので、普段は気配を感じることのできない動物たちの活動を身近に感じることができます。キャンプ場の周辺のあちらこちらにノウサギやタヌキ、キツネなど里山に住むいろいろな動物の足跡が残されています。大きな後ろ足の跡が並んでついているのはぴょんぴょん跳ねるウサギ、胴体で掘った雪の溝の中に蹄の跡があるのはイノシシ、小さくて爪の跡がはっきり残っているのはイタチです。タヌキとキツネはどちらも犬によく似た肉球の形がわかる足跡ですが、足跡がほぼ一直線に並んでいるのがスリムなキツネ、足跡が左右に開いているのがずんぐり体形のタヌキです。雪の里山でいろいろな動物の足跡を探してみましょう。

